



横田小だより



平成29年10月27日発行
高岡市立横田小学校

一人一人が主役

校長 岡 はるみ

秋はスポーツの秋、文化の秋…というように、本校でも10月には、グラウジーズによるバスケット教室(6年)、持久走記録会、劇団四季によるこころの劇場鑑賞会(6年)、学習発表会、区域連合音楽会(5年)、映画「デンサン」の鑑賞会(5、6年)などがありました。

持久走記録会はさわやかな秋空の下、朝運動や体育の時間に走り込んだ成果を子供たちは十分に発揮しました。保護者の皆様には、たくさんの応援ありがとうございました。

また、学習発表会でも、保護者の方々地域の皆様方のご来校ありがとうございました。PTAや各種団体の皆様方には、バザーや体験コーナー、健康教室、各種団体展示等、ご協力いただきましたこと本当にありがとうございました。



今年の児童会スローガン「感動の嵐をまきおこせ! しっ子231人 光り輝く夢のステージ」の通り、それぞれのステージに感動の嵐が巻き起こっていました。全校合唱では、「辛くても苦しくても 一人じゃないさ 仲間がいるから…」と、音楽に合わせて自然と体がゆれたり、手振りがついたり、歌詞に合わせた表情があったりなど一人一人が主役として歌いきました。

練習を重ねるごとに輝くステージ発表や試行錯誤して作り上げた作品は、子供たちの成長の証です。6年生の劇ではステージと観客の方々为一体となって共に笑い、考え、感動しました。

子供たち一人一人がやりきったという表情を見ていると、心の中にも感動の嵐が巻き起こりました。一つ一つの行事を体験することで子供たちは成長していきます。そこには、学校はもちろん、保護者の皆様の励ましや支えがあるからこそ、失敗してもまた頑張ろう、次も頑張ろうというやる気やエネルギー、自分の力を信じる気持ちがかかります。11月にも多くの行事があります。子供たちの成長を願って頑張っていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

三つの幸せ

朝玄関に立っていると、登校途中の子供たちが、道ばたにあった傘の残骸を拾って持ってきてくれることがあります。前日に激しい風が吹いていると、いろいろな物が路上に散らばっています。歩いている人の邪魔にならないように、わざわざ学校まで持ってきてくれるのです。そういう細かなことに気が回る子供たちがたくさんいます。

人には三つの幸せがあるとされます。一つ目は「してもらう幸せ」。ご飯を用意してもらったり手伝いをしてもらったり、たくさん経験があるはずですよ。

二つ目は「できる幸せ」。跳び箱が跳べるようになった、算数の勉強が分かるようになった。できることは、少しずつ増えています。

そして「してあげる幸せ」。人が困っていたら助けてあげる、声をかけてあげるなど、人に対して「してあげる幸せ」があります。

本校でも児童会の「あったか活動」でたくさんの「してあげる幸せ」を子供たちは経験しています。今後も身の回りにたくさんある幸せを広げていきたいと思っております。

